

2014年8月

各 位

劇映画「望郷の鐘－満蒙開拓団の落日」

上映をすすめる大阪の会

呼びかけ人

池長 潤（カトリック大阪大司教区大司教）

石田法子（大阪弁護士会会長）

渡辺 武（日本中国友好協会大阪府連会長）

劇映画「望郷の鐘－満蒙開拓団の落日」

上映をすすめる大阪の会参加のお願い

平素より、国民の暮らし、平和と民主主義を守る諸活動に邁進されていることに心から敬意を表します。

日本の中国侵略戦争で多くの犠牲者を出した満蒙開拓団の悲劇を題材にした劇映画「望郷の鐘－満蒙開拓団の落日」は、山田火砂子監督、原作・脚本の和田登さん、主役を演ずる内藤剛志さんによる4月の記者会見後、11月14日東京での完成披露試写会めざし製作が急ピッチですすめられています。

現在82歳になる山田火砂子監督は、「若者には、いい加減な報道を見破る力を持ってほしいと思います。満蒙開拓団の話は、決して昔の事で終らす事の出来ない『いま』につながる話なのです。悲惨な戦争を体験した世代として私はただただ平和な日本でありたいと、この『望郷の鐘』を作ろうと決心しました。」と映画製作の想いを語っておられます。

この大阪でも、監督の想いと心ひとつになって、若い世代をはじめ、戦争体験者・引き揚げ体験の世代もこの映画から歴史の真実を学び、改めて平和の大切さを考える機会になればと願っています。

つきましては、下記の点で、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 劇映画「望郷の鐘－満蒙開拓団の落日」上映をすすめる大阪の会にご参加いただくこと
2. 劇映画「望郷の鐘－満蒙開拓団の落日」をみなさんに知らせ、事務所等にポスターの掲示、12月13日（土）14:00～「クレオ大阪中央」ホールでの完成披露有料試写会の前売券（1,200円）普及にご協力いただくこと

以上